令和６年度 第１５回 熊谷市総合戦略有識者会議議事録	
日時・会場	令和７年２月１０日（月）10:00～　熊谷市役所議会棟２階　第１委員会室
次第	１．開会 ２．議事 （１）第３期熊谷市人口ビジョン・総合戦略について ３．閉会
資料	・第３期熊谷市人口ビジョン・総合戦略（案） ・第３期熊谷市人口ビジョン・総合戦略_概要版（案） ・パブリックコメントにおける寄せられた意見及び市の考え方（案） ・変更（修正）箇所一覧 ・令和６年　転入・転出の男女比
議事録	
	（１）第３期熊谷市人口ビジョン・総合戦略について ・事務局より資料に基づいて説明。 ・意見・質問は以下の通り。
委員	（１）第３期熊谷市人口ビジョン・総合戦略について 素案 24 ページのグラフについて、令和３年と平成 28 年の金額が同一となっているため、修正をお願いしたい。
事務局	修正し、正しいグラフを掲載する。
委員	子育て支援策については、熊谷オリジナルのものもあれば、周辺市町村でも行っているものもある。一方、国が進める子育て支援策の中で、市町村に任せる事業が多くある。このような政策について、熊谷は積極的に周辺よりも先に行っていただきたい。本来だったら受けられる行政サービスが熊谷にはないということで、他市町村に流れる人が実際にいる。積極的な取組をご検討いただけるようにお願いしたい。
委員長	全体予算や関連施策の問題等があるため、担当の部署と相談しながら、市長の判断に基づき事業化を進めていきたい。子育て支援の現場から声をあげていただければ有難いのでお願いしたい。
委員	ファミリーサポートセンター事業は、700 名程がボランティアとして登録しているようだが、実際、子育て支援に関わってサポートできる人は 20 人ぐらいしかいないと思う。チラシ等でいろいろ情報が出ているが少なく、サポート側が非常に弱い。 もっと広報・周知しながら、市民の皆さんにも助けてもらってもいいのではないか。
事務局	確かに広報にもう少し力を入れるべきであると認識しているところである。支える人数を増やす方法の検討も含めて、担当部署に確認する。新たに始めたコミュニティポイント「クマポ」は、核家族化や地域コミュニティーの希薄化が進む中で、地域で支え合えるまちづくりを目指し始まったものである。こういったものも活用しながら、お互い、地域で支え合えるまちづくり、市民が熊谷市に住んでよかったというようなまちづくりに取り組んでいきたい。現時点では、ファミリーサポートセンター事業とコミュニティポイントは紐づいていないが、検討できるのではないかと考える。
委員	私は、ファミリーサポートの援助会員をしている。広報については、こども課

	と社会福祉協議会で広く活動していただいている中、５年前から子育て応援団講演会を行っている。私も講師をしており、初年度は行政の出張所がある公民館のエリアに住む人たちに、地域の応援団、つまりファミサポの援助会員になっていただきたいという目的で取り組んでいた。 今、こども家庭庁が「はじめの 100 か月の育ちビジョン」を進めている。そうした中、当事者以外にも遠隔的に子育てに関われる人たちがまちの中にいるということ、いわばオール熊谷で子育て世代を支えるという取組を積極的に進めている。しかし、その意識改革はなかなか浸透しない部分もあるが、こども課も含めて地道に実施している。どこまで周知すれば増えるのかわからないが、一緒になって問題を解決する役割が自分にもあるんだということを理解いただく取組がもっと必要だと思う。 ファミリーサポートセンター事業では、本当に助けられる親子がたくさんいる。特に、結婚して知らない土地に来た母親は、夫が仕事に行ってしまうと助けを出すことができない。助けてくれと手を挙げたときに、お手伝いできる地域づくりがとても必要だと思うし、助けてという声を上げられる環境であるということを子育て世代に理解される取組をしていただきたい。
委員長	地道な活動の積み重ねをやっている部分もあり、広報を含めて積極的に取り組んでいきたい。 冒頭の説明等についての質問等はよろしいか。なければ、本日、委員から配布された資料について委員本人からご説明いただきたい。
委員	事前に配布あった資料「寄せられた意見及び市の考え方（案）」については、私からの意見が掲載されているが、割愛されている部分もあり、意見の意図が十分伝わらないのではないか、また、会議の円滑化を危惧したため、改めて資料を用意させていただいた。今回の会議と趣旨が合わない内容が多いため、この資料は会議が終わってから見てもらえればと思う。
委員長	現時点での情報や考えを個別具体的に細かにまとめていただいたため、今回の計画に直接入れにくいもの等もあるかと思う。総合振興計画や、場合によってはそれぞれの所管に話を下ろす形で利用させていただきたいと思う。 委員から全体を通して何かご意見等があるか。
委員	先ほどの広報の方法については、とにかく人の目につきやすいところに、熊谷市が今何をやっているのか、皆さんの気持ちが一体となれるような広報を、目に見える形で情報発信していけたらと考えている。 例えば、主要な公共施設等に液晶画面を設け、画面の下に市内の企業スポンサー広告を表示することで設置料や電気代を賄いながら、熊谷市の取組を周知する。また、ＤＸ、スマートシティの一環として路線バス・コミュニティバスの中の液晶画面に表示できるようにする。さらに、広告はスマートフォンで簡単に作成できると思うので、スマートフォンから設置した液晶画面に転送するなど、将来そういったものを役立てていきたい。今回、こうした提案を行ったが、民間と熊谷市がうまく連携し、そういうことができたら更に良いと思う。 また、市職員から市の取組について、こうしたところで広報を行っていると案内をいただくが、正直、私はそれを知らなかった。市民にとっては、熊谷市が行う政策等に触れるのは市報だけで、市報は全て熟読している人も少ないと思う。なるべくビジュアルで簡単に見て、足を止めてくれるような広報を将来的に作っていけたら良いのではないかと思う。ぜひ検討いただきたい。
事務局	熊谷市では、シティプロモーションを広報広聴課が担っているが、市内外への戦略的な発信を検討しているところであることから、今後にご期待いただきた

	い。
委員長	今「クマぶら」という都市ポータルアプリを運用しているが、プッシュ型でＬＩＮＥを通じて情報等を配信する形を取っている。 また、委員から話があった視覚的に訴えるような方法を取れるか。駅等での実施も視野に入れながら、目で見て分かる、分かりやすい広報にも取り組んでいきたいと考えているので、ご意見として伺っておきたい。
委員	市役所１階ロビーのスクリーンに、イベントの告知や育児ポータルサイトの紹介をしたいと考えたが、広告料がかかるため、費用負担してまでは使用できなかった。私は市民課に行くと、そのスクリーンを絶対見るため、もったいないと感じているが、予算的に余裕はないので、まずその点の活用などを考慮していただきたい。 また、市内各銀行の待合いスクリーン等を活用し、熊谷市のご案内を表示する取組から始めるのも良いと考える。既存の設備の活用について協力していただきながら、このようなことをまちの中で行った実績を作った上で、大型ビジョンや駅前での整備を進めていただければと思う。 本日配付いただいた委員の資料を読み、非常にワクワクした。できないというところから考えるのではなく、できるところからという考え方に変えていただければと思う。
委員長	事務局はよく参考にして頂きたい。 他に意見等がなければ、本日事務局が説明・提示した第３期の熊谷市人口ビジョン総合戦略はこの案で進めるということで、この会議としては了承でよろしいか。
各委員	了承。
委員長	それでは、そのような形で進めさせていただきたい。 これで議事は終了する。
	以上